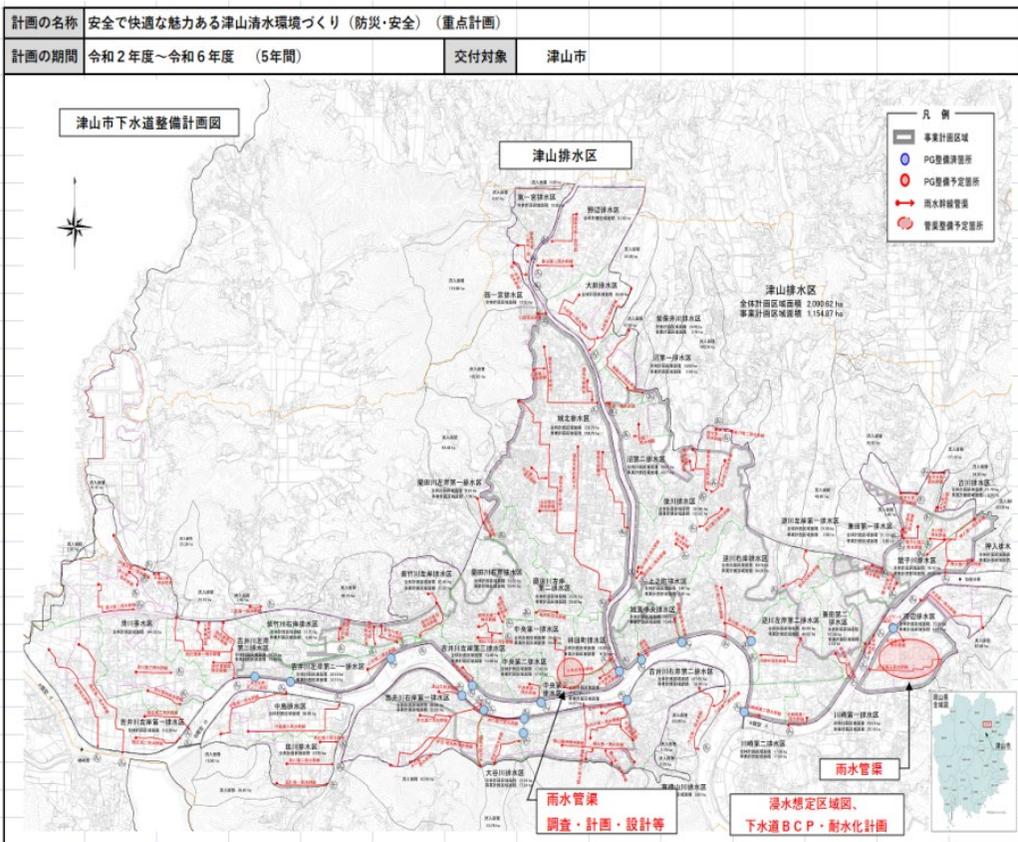


機関名	流域治水の分類	取り組み内容	ページ
津山市	氾濫を防ぐ・減らす	・下水道・排水施設等の整備	1
備前市	被害の軽減・復旧等	・浸水センサーを用いた避難情報の早期提供	2
瀬戸内市	氾濫を防ぐ・減らす	・内水排水ポンプの更新	3
	被害対象を減らす	・都市計画の導入（土地利用規制）に向けた取り組み	4
和気町	氾濫を防ぐ・減らす	・排水ポンプ車の配備	5
鏡野町	被害の軽減・復旧等	・防災イベント、非常時持ち出し袋の配布	6
勝央町	被害の軽減・復旧等	・自主防災組織による地区防災計画の策定	7
奈義町	被害の軽減・復旧等	・小型ショベルを活用した災害対応訓練を実施	8
西粟倉村	被害の軽減・復旧等	・災害リスク早期把握のための監視設備整備	9
美作市	氾濫を防ぐ・減らす	・可搬式排水ポンプの整備	10

# 下水道・排水施設等の整備

- ポンプゲートの整備は、平成10年に発生した台風10号で市内中心部を流れる吉井川周辺の市街地が大きな浸水被害を受けたことから同規模の集中豪雨を想定の上、整備されており、強制的な内水排除により、浸水想定区域の安全性が確保できる。令和4年度に、計画していた14基の整備が完了した。
- 雨水管渠の整備については、浸水被害の軽減を図るため、ポンプゲート上流や、近年多発するゲリラ豪雨で被害を受けた箇所を整備を進めている。



昭和町第2ポンプゲート

施工前

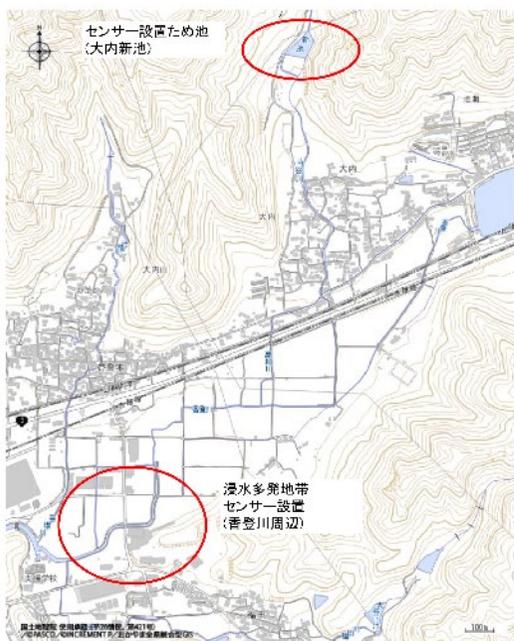
施工後



下水道整備計画図

# 浸水センサーを用いた避難情報の早期提供

- 浸水多発地帯に設置した浸水センサーのデータから、豪雨・台風時の浸水状況を予測し、周辺住民及び通行者に避難情報を早期に提供することで、避難困難者の減少をはかる。



浸水センサー設置位置図 (香登川周辺)

● ●  
浸水センサー設置箇所 8  
使用センサー数 24

- 香登川周辺と日生港防潮堤の浸水多発地帯で検証する。
- ため池の流出解析を加え、予測精度を向上。



センサー設置状況(ため池)



センサー設置状況 (浸水多発箇所)

- 令和5年度ワンコイン浸水センサー実証実験に参加し、無償提供された浸水センサーを浸水多発地帯と上流の防災重点ため池に設置し、浸水状況を計測する。

- 令和7年度末までの実験期間で、浸水センサーのデータと雨量に関するデータを組み合わせて検証し、避難情報の早期提供を検討する。

- 河川水位の上昇により支川の樋門を閉じた際、内水浸水被害を防止する内水排水ポンプを更新し、地域の安全を確保。



一級河川 干田川が増水、水位上昇の際は、準用河川 東向川に逆流しないように、樋門を全閉とする。その際、東向川の内水は排水ポンプを稼働させ、排水することで、地域内の浸水を防ぐ。

平成7年の河川整備に伴い、岡山県が排水ポンプを設置し、市に移管された。



地域の安全・安心のため

ポンプ設置後、点検・修繕を行ってきたが、約30年が経過することから、ポンプ本体・制御盤の更新工事を行った。(R5～R6年度)

《ポンプ能力》

吐出量: 8m<sup>3</sup>/min、口径: Φ250



ポンプ本体・制御盤の更新

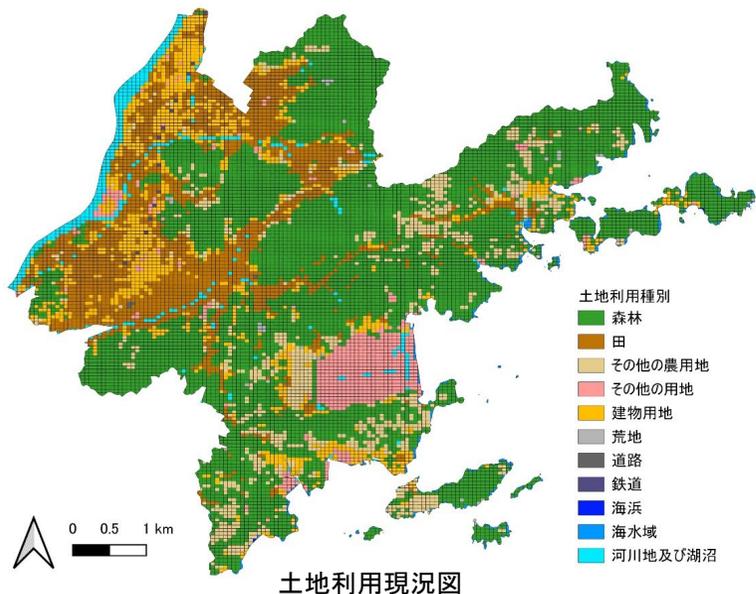


樋門

# 都市計画の導入(土地利用規制)に向けた取組

- 令和4年度に瀬戸内市国土利用計画を策定し、令和5年度から都市計画の導入に向け、市民の参画を得ながら、瀬戸内市都市計画マスタープラン(案)の策定を進めています。

## 瀬戸内市国土利用計画(R4策定)



## 災害に強い市土の構築

近年、自然災害が多発していることから、市民の防災に対する関心が高く、まちづくりにおいて、ハード・ソフト両面から安全・安心の確保が課題。

土地利用の面からも、治水対策や土砂災害対策及び、災害時の避難場所やゆとり空間の確保、狭あい道路の解消など、防災に配慮した土地利用を進める。

## 計画的な土地利用と持続可能なまちづくり

都市計画区域の指定、都市計画決定、都市計画マスタープランの策定等

都市計画区域マスタープランの策定

用途区域(案)作成、立地適正化計画(案)の策定

都市計画区域(案)の整理

都市計画マスタープラン(案)の作成

R6策定中

市のまちづくりの構想

国・岡山県の都市計画の方向(コンパクト・プラス・ネットワーク)



まちづくり構想図(案)



市民意見集約図



まちづくり構想図(素案)

瀬戸内市国土利用計画(土地利用の基本方針)

# 排水ポンプ車の配備

- 平成30年7月西日本豪雨災害で被害を受けた区からの要望で、経済性、機動性、運用管理面から排水ポンプ車の配備を決定しました。

	米沢区配備排水ポンプ車	塩田区配備排水ポンプ車
車 種	8t車(中型免許)	
運 転 時 間	48時間以上連続運転可能 ※約13時間の無給油連続運転可能	
総 排 水 量	30m <sup>3</sup> /分	20m <sup>3</sup> /分
排水ホース	口径200mm 20m 8本 10m 4本	口径200mm 20m 12本
保 管 場 所	佐伯庁舎車庫	生ごみ資源化センター倉庫
管 理 運 営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和気町、地元区等により共同管理</li> <li>・出水期に合わせて点検を実施 6月 メーカーによる年次点検 7月～10月 地元区等による点検</li> <li>・和気町防災訓練(9月)において訓練実施</li> </ul>	



- 防災イベントの開催や非常時持ち出し袋の配布を行い、自助・共助の取組みを推進しました。

## 【みんなで防災inかがみの等】

「みんなで防災inかがみの」(令和5年11月26日)を開催し自主防災リーダー等の防災意識の向上に努めました。また、子供の頃から防災に関心をもってもらう取り組みとして「イザ、カエルキャラバンinかがみの」(令和6年1月28日)を開催しました。



## 【非常時持ち出し袋の配布】

令和5年度において、災害時に備えた防災対策の推進を図ることを目的に、非常時持ち出し袋を町内1世帯1個配布しました。バッグの中には18品目の防災用品を入れました。

非常時持出品イメージ写真





# 小型ショベルを活用した災害対応訓練を実施

- 共助の要となる自主防災組織の災害対応力向上を目的として、町所有の小型ショベル2台を各自主防災組織へ貸出を行い、操作訓練及び水路の整備など操作技術の向上訓練を実施。(令和4年度～)
- 町職員20名へ小型ショベル特別教育を実施し、小型車両系建設機械(解体)免許取得。(令和4～5年度)

## ○自主防災組織操作技術向上訓練

### 作業道整備(整地)



### 水路整備(雑草除去)



### 輸送訓練



## ○小型ショベル特別教育

### ショベル点検訓練



### 倒木処理訓練



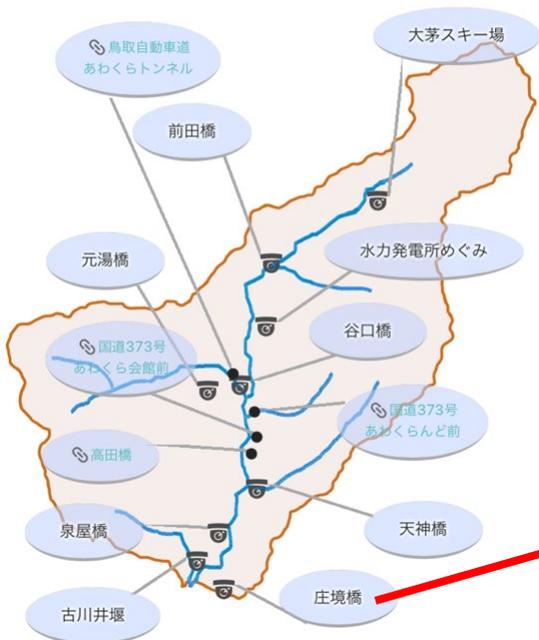
### ダンプ積載訓練



# 災害リスク早期把握のための監視設備整備

- 昨今の局地的な降雨等を早期に把握し、土砂災害や河川災害に対してのリスク管理を行うべく村内全12箇所に対して雨量計・河川監視カメラ、気温計を整備。

河川のカメラ画像



現在の雨量・気温状況

観測時刻 2024年05月27日 18:49分 更新

地区名	現在の気温	60分間の雨量	累加雨量 [累加時間]	さらに細かく
大茅地区	21 °C	0.0 mm	0.0 mm [00:00]	🔍
塩谷地区	20 °C	0.0 mm	11.0 mm [16:40]	🔍
西粟倉村役場	21 °C	0.0 mm	0.0 mm [00:00]	🔍
引谷地区	20 °C	0.0 mm	0.0 mm [00:00]	🔍
知社地区	20 °C	0.0 mm	0.0 mm [00:00]	🔍

雨量の見方

この60分間に降った雨の量です。雨の降らない状態が6時間続かない限り雨量が累加されます。6時間のあいだ雨が降らなければ累加雨量は0mmに戻ります。

- 西粟倉村防災ポータルで常に河川カメラ画像、雨量・気温の情報を公開(道路カメラや国・県が設置しているカメラへのリンクも設置している)
- 取得したデータについてもオープンデータとして公開し、二次利用・防災活動に活かせるものとする。



## 塩谷地区の雨量詳細 (10分表示)

画面更新 もどる

塩谷地区

昨日の 最高気温 22°C 最低気温 9°C

観測時間 日/時:分	気温 (°C)	10分間雨量 (mm)	60分雨量 (mm)	累加雨量 (mm)
27 / 18:40	20	0.0	0.0	11.0
18:30	20	0.0	0.0	11.0
18:20	20	0.0	0.0	11.0
18:10	20	0.0	0.0	11.0
18:00	20	0.0	0.0	11.0
17:50	20	0.0	0.0	11.0

# 可搬式排水ポンプの整備

- 可搬式排水ポンプを配備。(令和元年～)  
浸水被害の減少や、浸水したときの早期復旧、避難するための時間を少しでも長く確保できることを期待する。

○吉野川流域を中心に、美作市役所本庁、4つの総合支所、消防本部、美作市浄化センター16台を配備。

○講習を受けたものを主導とした使用を想定しているため、誰でも動かせるよう定期的に訓練を開催。要請があれば、消防本部での操作訓練だけでなく、利用場所を想定した現地での訓練も行っている。



訓練の様子



ポンプ操作講習